新川高校NEWS

ー発行ー
荒井学園新川高等学校
〒937-0041
魚津市吉島1350

４年ぶりの修学旅行！福島県双葉町を訪問

〈震災についての講演を聞く生徒〉

〈双葉町立双葉中学校の様子〉

〈請戸小学校の様子〉

過去数年間新型コロナウイルス感染症の影響で、修学旅行の中止を余儀なくされていましたが、4年ぶりに実施することができました。

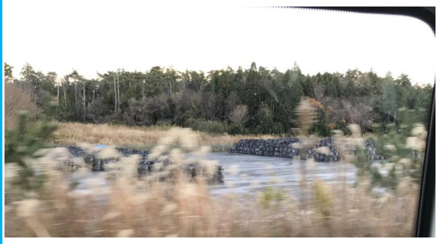
新川高校は8月に帰還困難区域が解除されて以来、日本で初めて11年もの間時間が止まっていた双葉町を訪れました。

請戸小学校・双葉中学校の内部や現在も残されている汚染土を見学し、町中に設置された放射能測定器や今も残る地震によって破壊された建物は震災の脅威を生々しく物語っていました。小学校の内部は天井が剥がれ落ち、津波により流されてきたものが散乱している状態でした。中学校の卒業式のそのままの様子で教室が残っており、当時の緊迫感を肌で感じました。また、実際に震災を経験した方の講演を聞くこともできました。講演をしてくださった方は役場で働く方で、ゼロから復興する大変さや今後の課題について分かりやすくお話ししていただきました。

同じ国内でこのような状態の場所があることを知った生徒は、終始真剣な表情で活動し、震災を身近な問題として捉えることができたようです。震災に伴う、原子力発電に対する是非を考え、エネルギー資源や環境問題についても併せて学習することができました。

今回は日本で初の福島の被災地への旅行ということもあり、KNBが同行取材しました。その模様は3月にワンエフで放映されます。

2日目以降は、JAXA宇宙センターやディズニーシー、サファリパークへいき、多くの思い出をつくりました。


〈車窓から見た汚染土〉

〈放射線測定器〉

〈壊れた建物など〉

１学年後期魚津市散策クラス発表会

〈クラス発表の様子〉

2月１０日(金)に1学年による後期魚津市散策の活動について、クラス発表を行いました。魚津市散策は総合的な探究の時間に実施され、地域の良さを発見するという意義の下行っている活動です。どの班も個性を大切に発表を行っていました。

3月2日には各クラスの代表による学年発表、2学年にはその発展学習として、魚津市の課題を発見し、市役所に意見として提出する「課題解決学習」が行われます。

自動販売機で子ども食堂を支援！

〈除幕式の様子〉

〈第一購入者　酒井啓路会長〉

12月 ２０ 日(火)に「なかま食堂応援自動販売機」が本校生徒玄関に設置されました。同日設置に際して、除幕式が行われ、酒井啓路生徒会長(2年)「たくさん利用し、地域を元気にしたい。」と話しています。は。自販機にセットする飲み物は本校生徒会が選定し、同日より販売開始されます。

また、売り上げの一部はあんどの里なかま食堂の活動資金として利用されます。